



IGRが始まりました！

WWL 1期生となる長崎東高75回生は、東志行でIGR(Integrated Global Research)を開始しました。SDGs(持続可能な開発目標)を考えるにあたって、知っておきたい基礎知識について講義を受けた後、「自分の好きな物」を書き出す「偏愛マップ」を作成し、自分にできる社会貢献について考えました。また、5月には「IGR・総合的な探究の時間での学習と入試の関連性」についてWWL推進室長鳥居先生から「『グローバル化』と国連の役割」と題した講演と、現代社会の授業と関連して地歴公民科の廣松先生の講義がありました。

(感想)・今までは漠然とグローバルという言葉を使っていたが、SDGsを切り口にしてグローバルについてわかった気がする。世界の様々な問題をSDGsで解決したいと思った。

・釣りが好きな僕は、SDGsの14番「海の豊かさを守ろう」について考えることができた。魚が減ったら嫌なので、自分ができることから始めようと思いました。

・勉強だけではなく、探究学習の必要性についていろいろな先生からの話で理解することができた。自分で考える力を身につけていきたいです。



大学を知るためのミニ講演会を行いました！

「総合的な探究の時間」と「IGR」の時間を使い、身近な研究者である東高の先生方の大学での研究等について何うミニ講演会を開きました。各20分の講演に6つ参加するというものでしたが、様々な分野のお話を伺うことができ、大学での研究を垣間見ることが出来ました。



(感想)文系理系のどちらの講義内容もたいへん興味深く文理選択を考える上での良い指標となりました。また大学とは受動的ではなく能動的な学びの場であると分かり今のうちから授業に対する積極的な姿勢を身につけていこうと強く思いました。

「アフターコロナの世界」は・・・

「総合的な探究の時間」では各自「アフターコロナを想像(創造)しよう」というテーマについて考え、6月17日にクラス内で発表会、19日に学年で代表チームによる発表の共有を行いました。どのチームも今までの常識が常識でなくなっていることをしっかりと認識し、変化



をよい変化にしようという意欲にあふれていました。

(感想)「ゼロベースから新しいことを発想する」のは難しかったが、チームで協力して考えるのはとても楽しかった。また、発想を出すきっかけとして「自分の興味」と「問題解決」を結びつけて考えてみたら、楽しく話し合いが進んだ。